

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート  
[団体名：東京都ダンススポーツ連盟]  
[記載日：令和6年3月8日]

【対応状況に係る自己評価】

- A : 対応している  
B : 一部対応している  
C : 対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	—
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)  団体としての権利義務関係を明確化するため、規約を定め次のとおりそれを遵守している。 <ul style="list-style-type: none"><li>・多数決の原理で物事を決定している。</li><li>・団体の構成員の変更があったとしても団体が存続し、代表の決定方法や財産の管理等の団体としての主要な事項を確定させることができる。</li><li>・個人の私的口座で財産の管理・運営を行うのではなく、団体活動のための専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営している。</li></ul>	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"><li>・大会やイベント、講習会等を行う際には、当該施設の使用に係る規則や、当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守している。</li><li>・個人保護法を遵守し、個人情報の取り扱いについては十分留意して管理している。</li></ul>	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)  会長1名、理事長1名、副理事長2名、理事14名で定期的(毎月1回)に理事会を実施している。 <ul style="list-style-type: none"><li>・役員が団体の構成員に対して、定期的(年1回の定時総会)に決算や事業報告等を行っている。また、会報等を発行し、定期的(年4回)に団体の運営状況を団体の構成員に報告している。</li></ul>	A

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	C  現在、上部団体（中央競技団体）である公益社団法人日本ダンススポーツ連盟において、基本方針を策定中であり、当連盟としては、その基本方針をふまえ、基本方針を策定したいと考えている。
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
現時点ではコンプライアンス教育の実施が出来ていないが、今後、役職員に対しコンプライアンス（スポーツインテグリティー等）に関する研修会を令和6年度に予定している。その後も年1回程度の継続的な研修会開催を計画していく。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
・現時点ではコンプライアンス教育の実施が出来ていない。今後、役員内で協議し令和6年度に各種研修等を通じて実施を目指して計画していく。	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
団体の会計処理が適切に行われるよう、団体の規約に必要な事項を定め、そのとおり処理している。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
・(公財)東京都体育協会の分担金を受けており、当該分担金に関する実施要綱や事務の手引き等に従い、適正に会計処理を行っている。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 団体の規約に基づき、監事による監査を行うとともに、定時総会において前年度の会計に関する計算書類の承認を受けている。	
<b>原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 団体のホームページにおいて組織概要（規約・組織図）を公表している。今後は、さらに、組織運営情報（財務情報・事業計画等）について整備し、令和7年度までには開示していく計画である。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 団体のホームページにおいて、組織運営に係る情報で組織概要（規約・組織図）は公表している。今後、令和7年度までにスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況（セルフチェックシートの記入内容）を公開する。	
<b>原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</b>	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 8 について	B
利益相反を適切に管理すべきである。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 規約、規程により対応していく予定です。	
原則 9 について	C
通報制度を構築すべきである。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) <b>通報制度は構築しておらず、ホームページからの問い合わせ窓口のみ設置している。今後設置を検討していく。</b>	

原則 1 3について

地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。

C

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

(公財)東京都体育協会が主催する「都民体育大会」「都民生涯スポーツ大会」を主管となって競技運営を行っている。大会運営だけでなく、地区体育協会との関係性を深め、連携しつつコンプライアンスの強化を図っていく。